

令和7年度 1年次生 学びのプラン

教科名	地理歴史	単位数 (コマ数)	2単位 (2コマ)	履修年次	1年次	
科目名	歴史総合	履修	必修修(共通)	開講	通年	
教科書	高等学校 歴史総合(第一学習社)	副教材	ダイアログ歴史総合(第一学習社)			
1 学習の目標						
<p>社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身につける。</p>						
2 学習の方法						
<p>・授業は教科書・副教材・プリントを主な教材として進めますが、基本的には授業に集中して臨み、単に話を聞くだけではなく想像力を働かせ、あたかもその時代に行っているような感覚になってほしいと思います。</p> <p>・タブレットは必要に応じて使用しますが、基本的には話に集中することを心がけてください。</p>						
3 評価について						
①評価の観点						
知識・技能	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けているか。					
思考・判断・表現	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けているか。					
主体的に学習に取り組む態度	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度や、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを身に付けているか。					
②評価の方法						
観点	材料	定期 考査	プリント	話し合い	グループ 発表	評価方法
知識・技能		○	○			左記のうち、定期考査を中心に日常の学習成果も加味してA・B・Cで評価する。「十分に満足できる」状況と判断されるものをA、「おおむね満足できる」状況と判断されるものをB、状況と努力を要する」状況と判断されるものをCとする。
思考・判断・表現		○	○			左記のうち、定期考査やレポート等での成果も加味してA・B・Cで評価する。「十分に満足できる」状況と判断されるものをA、「おおむね満足できる」状況と判断されるものをB、状況と努力を要する」状況と判断されるものをCとする。
主体的に学習に取り組む態度			○	○	○	左記のうち、主に提出された課題取り組みの内容により評価する。問に対し十分に答えているものをA、やや不十分なものをB、不十分なものをCとする。
4 その他						
<p>歴史を通して社会のリアルを体験しよう！ 歴史は過去の出来事を扱いますから、今の自分たちの社会や生活とは関係がないと思われがちです。しかし、実際は今の私たちの生活を成り立たせているものは、ほとんどすべてが何らかの「歴史」を背負っています。ですから歴史を学ぶことは、「今」を学ぶことに他なりません。「今、こうなっているのは過去のどのようないきさつがあったからなのだろう?」「今と昔で、どこが違っているのかな?」……そういうことを考えながら学習することを心がけてください。</p>						

5 単元の目標・評価						
単元名	第1部 歴史の扉					
単元の目標	歴史学習への興味・関心をもち、以後の学習に必要な歴史学習の基本的な技能や学び方を身に付ける。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	一斉授業、ペアワーク、グループワーク					
活動内容	授業者による説明を行い、適宜ペアワークやグループワークなどを行う。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	(ア) 私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解しているか。 (イ) 日本や世界の様々な地域の人々の歴史的な営みの痕跡や記録である遺物、文書、図像などの資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解しているか。		(ア) 近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と関わらせて、私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象と日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し、表現しているか。 (イ) 複数の資料の関係や異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現しているか。		諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動に主体的に取り組んでいるか。	
単元名	第2部 近現代の世界と日本 第1章 近代化と私たち					
単元の目標	産業社会と国民国家の形成を背景として、人々の生活や社会の在り方が変化したことを扱い、世界とその中における日本を広く相互的な視野から捉えて考察し、現代的な諸課題の形成に関わる近代化の歴史を理解する。(第2部の目標)					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	一斉授業、ペアワーク、グループワーク					
活動内容	授業者による説明を行い、適宜ペアワークやグループワークなどを行う。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	(ア) 18世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、18世紀のアジアの経済と社会を理解しているか。 (イ) 産業革命と交通・通信手段の革新、中国の開港と日本の開国などを基に、工業化と世界市場の形成を理解しているか。 (ウ) 18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解しているか。 (エ) 列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解しているか。		(ア) 18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現しているか。 (イ) 産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現しているか。 (ウ) 国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現しているか。 (エ) 帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、帝国主義政策の特徴、列強間の関係		諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動に主体的に取り組んでいるか。	

単元名	第2部 近現代の世界と日本 第2章国際秩序の変化や大衆化と私たち				
単元の目標	産業社会と国民国家の形成を背景として、人々の生活や社会の在り方が変化したことを扱い、世界とそこにおける日本を広く相互的な視野から捉えて考察し、現代的な諸課題の形成に関わる近代化の歴史を理解する。(第2部の目標)				
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力 継続力
活動形態	一斉授業、ペアワーク、グループワーク				
活動内容	授業者による説明を行い、適宜ペアワークやグループワークなどを行う。				
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<p>(ア) 第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソビエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解しているか。</p> <p>(イ) 大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達などを基に、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解しているか。</p> <p>(ウ) 世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に、国際協調体制の動揺を理解しているか。</p> <p>(エ) 第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解しているか。</p>		<p>(ア) 第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現しているか。</p> <p>(イ) 第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し、表現しているか。</p> <p>(ウ) 経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現しているか。</p> <p>(エ) 第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際</p>		<p>諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組んでいるか。</p>
単元名	第2部 近現代の世界と日本 第3章グローバル化と私たち				
単元の目標	産業社会と国民国家の形成を背景として、人々の生活や社会の在り方が変化したことを扱い、世界とそこにおける日本を広く相互的な視野から捉えて考察し、現代的な諸課題の形成に関わる近代化の歴史を理解する。(第2部の目標)				
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力 継続力
活動形態	一斉授業、ペアワーク、グループワーク				
活動内容	授業者による説明を行い、適宜ペアワークやグループワークなどを行う。				
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<p>(ア) 脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理などを基に、国際政治の変容を理解しているか。</p> <p>(イ) 西ヨーロッパや東南アジアの地域連携、計画経済とその波及、日本の高度経済成長などを基に、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解しているか。</p> <p>(ウ) 石油危機、アジアの諸地域の経済発展、市場開放と経済の自由化、情報通信技術の発展などを基に、市場経済の変容と課題を理解しているか。</p> <p>(エ) 冷戦の終結、民主化の進展、地域統合の拡大と変容、地域紛争の拡散とそれへの対応などを基に、冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解しているか。</p>		<p>(ア) 地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソビエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し、表現しているか。</p> <p>(イ) 冷戦が各国経済に及ぼした影響、地域連携の背景と影響、日本の高度経済成長の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、冷戦下の世界経済や地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現しているか。</p> <p>(ウ) アジアの諸地域の経済発展の背景、経済の自由化や技術革新の影響、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現しているか。</p> <p>(エ) 冷戦の変容と終結の背景、民主化や地域統合の背景と影響、地域紛争の拡散の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、冷戦終結後の国際政</p>		<p>諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組んでいるか。</p>

6 年間計画						
学期	月	単元		項目	予定時数	考查
前期	4	第1部 歴史の扉	第1章 近代化と私たち	・歴史と私たち ・歴史の特質と資料	12	前期 中間 考查
	5	第2部 近現代の世界と日本		第1節 18世紀のアジアの繁栄 第2節 産業革命と市民革命		
	6	第2部 近現代の世界と日本	第1章 近代化と私たち	第3節 イギリスの繁栄と国民国の拡大 第4節 アジア諸国の変貌と日本の開国 第5節 帝国主義の発展 ・帝国主義時代 ・列強の世界政策 ・日清戦争と中国分割	15	前期 期末 考查
	7					
	8					
	9	第2部 近現代の世界と日本	第1章 近代化と私たち	第5節 帝国主義の発展 ・日露戦争とアジア ・日本の工業化と社会運動の高揚 ・日本の帝国主義と東アジア	22	後期 中間 考查
	10			第1節 第一次世界大戦と大衆社会 第2節 経済危機と第二次世界大戦 ・世界恐慌 ・ファシズム・軍部の台頭 ・ファシズムの対外侵略と国際秩序の変化 ・日中戦争の開始と戦時体制下の日本		
	11		第2章 国際秩序の変化や大衆化と私たち	第2節 経済危機と第二次世界大戦 ・第二次世界大戦の開始 ・第二次世界大戦の終結	16	後期 期末 考查
12	第2部 近現代の世界と日本	第2節 第二次世界大戦の戦後 処理と新たな国際秩序の形成				
後期	1		第3章 グローバル化と私たち	第1節 冷戦と脱植民地化・第三世界の台頭 第2節 国際秩序の変容と21世紀の世界 ・石油危機とイスラーム復興 ・東南アジア・東アジアの経済成長 ・冷戦の終結とソ連の解体	16	後期 期末 考查
	2	第2部 近現代の世界と日本	第3章 グローバル化と私たち	第2節 国際秩序の変容と21世紀の世界 ・地域紛争の頻発とアメリカの動揺 ・グローバル化と地域統合の動き ・情報通信技術の形成と展望		
	3	まとめ			5	